

## 船舶事故調査報告書

平成21年10月8日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後 藤 昇 弘  
委員 楠 木 行 雄  
委員 横 山 鐵 男（部会長）  
委員 山 本 哲 也  
委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（死亡推定時刻は、平成20年11月21日06時00分ごろであった。）
発生場所	不明（青森県十和田湖 御倉山山頂から真方位090° 1,850m付近（概位 北緯40° 27.6′ 東経140° 55.9′）で漁具が発見された。）
事故調査の経過	平成20年11月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>とうこう</sup> 東港丸、0.4トン AM6-1468（漁船登録番号）、個人所有 4.26m（Lr）×1.43m×0.43m、FRP ガソリン機関、30kW、平成2年8月
乗組員等に関する情報	船長 男性 76歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和54年4月2日 免許証交付日 平成19年6月25日 （平成25年3月1日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成20年11月21日05時10分ごろ、船長1人が乗り組み、ひめます刺網漁の目的で、青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔宇樽部の船着場を発したが、10時00分ごろ、機関が停止して無人状態で湖岸に漂着しているところを僚船により発見された。 船長は、僚船の捜索により、10時40分ごろ救命胴衣を着用したまま浮いているところを発見され、救急車で病院に搬送されたが、低体温による急性心停止で死亡と検案された。
気象・海象	気象：（06時00分）天気 雪、風向 東、風力 1、気温 0.0℃ （10時00分）天気 晴れ、風向 西南西、風力 2、 気温 1.2℃、水温 7℃
その他の事項	ひめます刺網漁は、網の両側に錨を各1個入れるが、船内に錨1個が残っており、水中から錨1個とそれにつながれた漁網が発見された。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし 不明 死因は低体温による心停止であった。 船長は、落水したことにより、低体温に陥ったものと考えられる。 水中から錨1個とそれにつながれた漁網が発見されたことから、船長が投網作業中に落水した可能性があると考えられるが、落水の原因は、明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が、青森県十和田湖において、ひめます漁に従事中、投網作業に従事していた船長が落水したため、発生したものと考えられる。	